

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハミングツリー			
○保護者評価実施期間	令和7年12月25日 ～ 令和8年1月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日 ～ 令和8年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導訓練室面積が40㎡以上の54㎡あるので 療育の内容によりスペースをアレンジしやすい。床がクッション性がありまた洗面所の入口以外はバリアフリーとなっているので安全である。	登所する児童により療育内容が変わるため、その日に合わせたスペースの配分ができるので 日により 学習+集団運動/微細運動+粗大運動/個別運動+集団運動 と色々なアレンジができる。	仕切りパネルの活用。 また広いスペースを活用して色々な競技運動なども取り入れてみたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	放課後児童クラブや児童館とは、発達障害児の受入れ状況から交流を図りづらい。また営利法人のためか交流が難しい インクルシブの観点からより強く交流を働きかけたい。現在は近隣の放課後等デイサービス4事業所と交流/活動を月に1回実施している。	放課後児童クラブや児童館とは、密な交流を図りづらいが、児童館職員が「実際の活動状況」を見学したいとの申し出等を受け入れているのでこのような機会に参考となるものを吸収したい。同時に児童たちの交流も図っていきたい。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	相談事務所と相談の上ペアレントトレーニングの準備はしている。 必要と思われるご家庭から申し出があれば研修や情報提供を行えるが、積極的にこちらからアプローチするのは難しいめんがある。	気軽に相談していただける環境とはどんなものかを検討し整えていきたい。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	事業所の行事で地域住民を招待するイベントが少ない。 年末年始に行う事業所の「もちつき」などが該当すると思うが児童への安全面等が気がかりである。 セキュリティ以外にも児童のドアからの飛び出し等も心配である。	事前の準備があまり必要がないイベントを「もちつき」以外に考えていきたい。 例）・バザー